

特定非営利活動法人しみん基金・こうべ

平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

はじめに～平成 25 年度基本方針

平成 24 年度を振り返ると、まずは、2011 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災の復興へ向けてのあゆみは踊り場状態がつづき、被災者の生活再建は立ち往生していて、また、被災者支援のニーズは多様化している一方、被災地外での関心が薄れつつある、という状況であった。

しみん基金・こうべでは、この状況に対して長期的な視野に立った支援のしくみとして「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金(愛称:ずっと・こころ・つなぐ基金)」を創設し、震災関連のドキュメンタリー映画の上映と被災者支援のボランティア活動をしている人たちとの対話のつどいを複数回開催し、被災地を忘れていない、というメッセージを発信しながら、基金への寄附を呼びかけてきた。合わせて、平成 23 年度と同様に被災者を支援するボランティア活動へ助成する特定枠を設置し、従来からの一般枠と合わせて、また引き続き「次代の市民活動の担い手育成を重視する」というテーマを掲げながら、助成事業を実施した。

そして、10 月に開催した公開審査会の結果、8 団体(一般枠; 4 団体、特定枠; 4 団体)の各事業に合計 299 万円(一般枠; 150 万円、特定枠; 149 万円)の助成金を交付し、助成を受けられた団体の活動を通じて、18 年前の KOBE での経験が、このたびの震災被災者支援に活かされるようにしてきた。

また、兵庫県の「地域づくり活動支援事業」の委託を受けて、「寄附文化醸成セミナー」を 2 回にわたって開催し、平成 24 年度から施行された寄附税制改正の意義と改正点のポイント、それを受けての NPO が寄附集めをはじめの前準備しておくべきことについて、啓発活動を展開した。

しかし、一方で寄附金額はあまり増えやすことができず、多様な寄附機会の提供などの寄附受入拡大策もほとんど捗っていない。また、認定 NPO 法人格取得についても、準備を進めることができないままであった。

そこで、この状況を変えるために、向こう 3 年間の中期計画案策定に着手し、「社会に向き合う「参画」と「連携」を深める」というコンセプトの下、次に掲げる 3 つの目指すべき方向性を設定することにした。

- 1) 助成先選考のプロセスに支援者を参画させる
- 2) 気軽に小口で多様な寄附機会をつくる
- 3) 多様なセクター間の連携で社会的課題の解決に立ち向かう

この実現のために、まず平成 25 年度は、組織基盤の再構築と寄附受入拡大策を重点に据えて、3 年後に近年続けてきた赤字体質からの脱却を目指すこととした。

今年度の事業計画では、まずは事務局機能の整備を受けて、認定 NPO 法人格取得に取り組むなど組織基盤の強化を図り、引き続き被災した人々を支援するボランティア活動へ助成する特定枠の設置やフォローアップ力の強化など助成事業の充実化を図るとともに、多様な寄附機会の開拓・企画・提供や寄附者にわかりやすいホームページの改訂などのファンドレイジング力の強化に取り組み、またこれらのことを実現するためのネットワークを築いていくことに力を注ぐことといたします。

この平成 25 年度基本方針を受けて、下記のとおり事業を計画することとする。

1 助成事業

ア) 本体助成事業 担当理事:瀬戸口

助成方針 次代の市民活動の担い手育成を重視する。

助成金額 総額300万円(+5万円)

- ・一般枠:一般枠には150万円を充てる。1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限は50万円。
- ・特定枠:特定枠には150万円を充てる。1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限は50万円。
対象は「東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動」とし、その原資は「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金(愛称:ずっと・こころ・つなぐ基金)」からの拠出で賄う予定。
- ・しみん基金 KOBE 特別賞:当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し、応募団体の中から1団体を理事会で選考。賞金5万円。
- ・助成事業対象期間:1年間(2013年10月~2014年9月)

応募要項・申請書式:原則、昨年度から変更なしとする。

審査員 :審査員長は引き続き石東氏。審査員の変更の予定はなし。

スケジュール

- 5~6月:審査員・審査員長の就任承諾、応募要項の作成
- 7~8月:広報告知・応募申請、個別相談会(~受付締切1週間前)
理事・審査員合同会議
- 9月:受付検査・書類審査
- 9~10月:ヒアリング調査
- 10月:公開審査会、覚書締結・助成金交付、前年度助成成果報告書回収
- 12月:前年度助成事業成果発表会

その他の取り組み課題

- ・助成先団体への中間ヒアリングのしくみづくり(試験的に実施の上、問題点を抽出)
- ・既存助成先団体間のコミュニケーションの場づくり(MLの創設)
- ・ホームページの助成ページにQ&A集を追加
- ・助成プログラム改訂の検討

イ) はぁ~とふるふぁんど支援事業の受託 担当理事:瀬戸口

- ・委託元:はぁ~とふるふぁんど委員会(兵庫県遊戯業協同組合、神戸新聞社グループ)
- ・支援総額:1,500万円予定(ボランティアあしすと部門&ふるさと地域振興サポート部門)
- ・受託事業収入金額:70万円予定
- ・スケジュール 5月:今年度支援団体の決定
6月:今年度贈呈式
7月:前年度最終報告書回収
11~12月:次年度分応募要項の作成、新年度受託契約締結
1~3月:広報告知・応募申請・受付相談
3月:受付検査、1次審査

2 社会貢献活動促進事業

ア) 異分野連携仲介事業

・次代の市民活動の担い手と様々な主体のリソースを生かした新しい連携の個別支援の実施。

イ) CSR 活動支援事業

- ・個別企業への CSR 支援活動の実施。
- ・企業と NPO の連携のプラットフォームづくりへの参画。(協働)
- ・SR 事例研究。

3 寄付・募金活動

ア) 寄付受入

直接寄付 敬愛まちづくり財団:100万円他、目標:230万円。

イ) イベント募金

- こうべi-ウォーク(協働) 神戸復興塾、神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション、1月上旬 担当理事:野崎。目標15万円。
- ずっと・ところ・つなぐ基金上映会&トークサロン
- ・映像作品の上映と被災者支援を行っている人たちによるトークイベントの定期的な開催。
- ・期間4~3月、目標募金額:40万円
- ・次回作品の検討
- ユース・プロジェクト(仮称・協働)の立ち上げ
- ぼたんの会・リバイバル(仮称・協働);これまでの検証と従来の実施体制の見直しを行った上で呼びかけを開始し、概要の検討をはじめ

ウ) 職域募金

あじさい基金(協働) 神戸市職員有志(一口¥200/月40名) 目標:15万円
職域募金マニュアル・募金箱設置(自販機募金を含む)基準づくり 及び提携先の開拓

エ) 協働企画寄付システム

- 古着リサイクル寄付(協働) 提携先:オレンジスリフティ 目標:30万円
- 寄附付き商品(お菓子 de KIFU(仮称))の開発と試行 担当理事:福原、目標:5万円
- 居酒屋チャリティの開発と試行 担当理事:芦田、目標:5万円
- その他
- ・書籍購入寄付(協働) 被災地 NGO 協働センター 担当理事:村井
- ・ろうきん NPO 寄付システム(協働) 近畿労働金庫

オ) その他

ネット募金の導入、クレジット決済システム、HP 寄附ページの改訂
病院との連携

4 講演・講座事業

講演会は実施せず、NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)も前年度までで終了

ア) 地元 NPO 向けマネジメント講座(アドバイス付き)

- ・座学5回程程度、個別訪問アドバイス3回程程度
- ・5団体程度(団体賛助会員になることが条件)
- ・10~3月ころ開催。 担当:事務局

イ) アドバイザー派遣事業 (協働)

- ・神戸市委託、神戸まちづくり研究所との協働 担当理事:野崎
- ・5～3月、1団体程度
- ・NPO ステップアップ講座の企画・実施

ウ) 講師派遣(随時)

エ) 関西ファンドレイジング研究会の検討(協働)

5 運営・管理

ア) 組織管理

- ・中期計画素案の策定
- ・理事会構成メンバーと役割分担の検討(H26 改選期にむけて)
- ・正会員・賛助会員の分析・ターゲットの設定
- ・定款改訂項目の抽出と規程類(寄付受入、助成、会員、経理等)の策定

イ) 人材育成

- ・雇用環境の整備 :規程類(就業、給与等)の策定、社会保険(年金、医療)の導入
- ・人材の雇用
- ・ボランティア・インターン活用策の検討・導入
- ・内部研修の実施及び外部研修への参加(随時)

ウ) 基盤整備

- ・認定 NPO 法人格取得準備
- ・会計処理方法の見直し(月次処理の徹底、区分別会計の導入等)・NPO 新会計基準の導入
- ・事務所の模様替え・情報環境の整備と書類保管の整備
- ・データベース(寄附者等 & 支援先団体)の整備
- ・ボランティア・ルーム活用策の検討

エ) 情報発信

- ・ニュースレター発行 (年3回)
- ・ホームページの改訂、ブログやFBの更新(随時)

オ) ネットワーク活動

- ・関西財団の集い (:関西地区助成財団との連携)
- ・関西 NPO 支援センターネットワーク(KNN@大阪ボランティア協会:中間支援 NPO 地域連携)
- ・市民ファンド推進連絡会(@市民社会創造ファンド:市民ファンド全国連携)
- ・ひょうごコミュニティ基金等との共同広報事業
- ・その他各種講演・イベントへの共催やネットワーク等の活動への参画(随時)

カ) 会議

- ・総会(5月)
- ・理事会(5月、9月、10月、2月)
- ・四役運営会議(4月、6月、7月、11月、1月、3月)

当基金の目的に関連する活動(随時)

平成 25 年度 しみん基金・KOBÉ 活動スケジュール

月	助成事業	寄付・募金 / 講演会	その他の活動	会議等
4月	HF 予備審査・結果通知 助成団体中間ヒアリング (～9月・随時)	ずっと・こころ・つなぐ 基金上映会&トークサロン (月1回開催)	事務所環境整備 人材採用	HP改訂 運営会議
5月	審査員就任承諾 HF 予備審査・結果通知	買い物deKIFU 居酒屋チャリティ 企画	NL 発行	会計監査 理事会 定時総会
6月	HF 贈呈式 応募要項作成	職域募金 マニュアル作り	市報告・法務局更新手続	運営会議
7月	応募申請受付(～8月) 受付相談 HF 前年度報告書回収	買い物deKIFU 居酒屋チャリティ 試行	講座事業企画	運営会議
8月	理事・審査員合同会議	職域募金 提携開拓	NL 発行 講座受講団体の募集	
9月	受付検査 書類選考(1次審査) ヒアリング調査	ぼたんの会R ユースプロジェクト 企画	認定NPO法人格取得準備	理事会
10月	前年度分報告書回収 公開審査会		講座:(～12月) 座学:3回 団体訪問:2回	理事会
11月	覚書締結・助成金交付 しみん基金 KOBÉ 特別賞授 与式 HF 次年度応募要項の検討	ぼたんの会R ユースプロジェクト 試行	NL 発行	運営会議
12月	HF 委託契約 助成事業成果報告会	買い物deKIFU 居酒屋チャリティ 試行		
1月	HF 応募申請受付(～3月) HF 受付相談(～3月)	こうべウォーク 1・17イベント (= 買い物deKIFU キ ックオフイベント)		運営会議
2月		新規事業検証・見直し		理事会
3月	HF 受付検査 HF1次審査		NL 発行	運営会議

HF = はぁ～とふるふぁんど支援事業の略。助成事業欄で先頭に「HF」がついていないものは、本体助成事業によるものを意味する。
NL = ニュースレターの略。講座 = NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座の略。